

## Q. 名古屋空港利用促進事業の正当性を聞く

### A. 県営名古屋空港の利用促進が目的



熊沢 直紀 議員



いってらっしゃい

**Q** 平成23年度より、県営名古屋空港に就航している路線の利用者に対し、大人6千円、子ども3千円の助成を行います。助成回数に限りは制限がされていないが、フジドリームエアラインズは民間企業であり、現在、定期的に就航しているのは1社だけである。その一民間企業の営業をバックアップするために公金を使い援助することの正当性を問う。

**A** この事業は、町の県営名古屋空港利用に対しての助成であり、空港の利用促進を図ることを直接の目的としている。

空港の利用者減は、航空路線の廃止だけでなく、バス路線の廃止や空港周辺商業施設の利用者の減少などを招き、地域活力の低下につながる。

助成を行うことには十分な公益性があり、正当な支出であるものと考える。

## Q. 東日本大震災への町の対応は

### A. 支援物資を送るとともに

#### 職員1名を派遣

**Q** 先の3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方沿岸に多大な災害をもたらしたが、当町公営住宅の入居者受け入れ状況はどうか。

0食を被災地へ送った。個人、企業等からの支援物資の受付窓口を設置し、41箱分の支援物資を被災地へ送った。義援金については、480万円余を、日本赤十字社に送金した。

**A** 公営住宅への入居者はない。

人的派遣として5月13日から5月21日まで、職員1名を宮城県仙台市泉区役所に派遣した。

物的支援としては町の備蓄物資のうち乾パン480食とアルファ米40